

LIV 設計室さんとの出会いは妻の美貴子がたまたま LIV 設計室さんの現場を通りかかったことでした。当時はまだ一戸建てを建築することは決めていなかったのですが、約 10 年のアメリカ生活の経験がある美貴子の目に素敵なお家と映ったようです。その時には少し現場を見せていただいただけでしたが、完成時の見学会にもお邪魔して、全体を拝見しました。その後、LIV 設計室さんの見学会がある度にお邪魔しました。輸入住宅としてのテイストが私や美貴子の好みとあっていて、どの家も素敵に感じられました。

その後つくば市内に土地を購入し、建築業者を選定することになり、LIV 設計室さんを含めて 3 社からプランをいただきました。その中でも LIV 設計室さんのプランは、私たちの要望を的確に反映していただいていたものだったので、LIV 設計室さんをお願いすることにしました。

LIV 設計室さんをお願いすることを決めた後、約 2 年間の打ち合わせが続きしました。当初の私たちの希望は、美貴子がカバードポーチとビルトインガレージ、私が全館空調とドライウォールというものだったのですが、打ち合わせが進むにつれ、どんどん細かい要望がでてきました。そのため、打ち合わせ期間が長くなってしまったのですが、担当の君島さんは丁寧に要望をくみ上げていただく一方、プランからの意見で修正すべきところは修正していただきました。また、私達が全く考えていなかった、折り上げ天井を作ってください等、君島さんには本当に我慢強くおつきあいいただき、感謝しています。

そのような経緯で 2011 年秋に着工しましたが、実は躯体の建築が予定よりかなり長期になりました。かなり複雑な設計になった(設計図書も通常の 2 倍以上になりました)ための様でした。しかし、一方で 2 人の職人さんでどんどん躯体を作っていく様子を見ると、大工さんの偉大さを感じるようになりました。LIV 設計室さんの現場は、多くの職人さんの顔が見えるものでしたので、私達も様々なお話を聞く事ができました。

建築作業の進行に合わせて、自分たちで支給する部材の手配も進めて行きました。妻がツアーコンダクターという仕事柄色々な国を訪れ、様々なホテルに泊まった時に『使いたい』と思う物があれば写真に撮って、またそれをネット等で取り寄せ施主支給させてもらったり、海外で販売されている家関係の雑誌を買って来ては参考にしました。

今から思い起こせばよくあれ程にも家作りのために動いたなど我ながら感心しています。カワログでは分からないを口癖に関東一円又は帰省の際は関西での様々なショールーム等への行って実物を見れる物は全て見たと思います。中でも思い出に残るのは玄関ドアの下見に前橋まで行った、トイレの手洗いボウルの下見には、帰省した神戸から信楽まで片道2時間半以上かけて行ったことです。結局、両方とも期待していた様なものはなかったので採用しませんでした。因みにその後玄関ドアはアメリカのシンプリンの物を採用し、手洗いボウルは益子焼でオーダーしました。LIV設計室さんは、施主支給についてもほとんど対応していただきましたし、場合によってはこちらから要望した部材をLIV設計室さんで手配していただいたりもしました。

家が完成したのは2012年の夏で、完成見学会も行いました。見学会にお越しいただいた方からは好評をいただいた様で、とてもうれしく思いました。2X4工法であったので、上棟式がなかったことから、携わっていただいた職人さんに完成後の我が家にお越し頂いて、お礼を言わせていただく機会も設けました。

家のインテリア等に関してはまだ二人で悩みながら家作りを楽しんでいる最中ですが、外から帰って来て家を見る度「素敵な家だな～」と幸せを感じどこよりもここに居たいと思います。例えば、我が家の浴室は2階にあります。それは最初に見せていただいた家が参考になったのですが、外からの視線を気にする事なく広々した開放感があって我が家では『パラダイス』と呼んでいます。

今では友人が集まる家として度々パーティをしたり、ハロウィンやクリスマスが似合う家と自負して季節毎に家を飾り、入居間もなくの10月31日には近所の子供達やその友人達20人以上が「Trick or Treat」に来てくれて子供のいない我が家でも久しぶりにハロウィンができてアメリカ時代が懐かしむ事ができました。

LIV設計室さんの魅力は、輸入住宅に関するデザインセンスの高さや工事監理の確実さ等でもあるのですが、何より菊池社長、君島さんの誠実さだと思います。